

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

## ②施設・事業所情報

名称：みゆさと保育園	種別：認可保育園	
代表者氏名：山崎 志保	定員（利用人数）：60名	
所在地：〒230-0062 横浜市鶴見区豊岡町40-15		
TEL：045-585-5501	ホームページ：https://wakasato.site/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2019年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人若里		
職員数	常勤職員：15名	非常勤職員：7名
専門職員	（専門職の名称）：名	看護師：1名
	保育士：17名	管理栄養士：1名
	栄養士：2名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室2室	調理室
	保育室1室	調乳室
	遊戯室1室	幼児用トイレ
		医務室
		事務室
	沐浴室	

## ③理念・基本方針

## &lt;理念&gt;

保育に欠ける子どもを心身共に健やかに保育すること

## &lt;基本方針&gt;

様々な関わりを通して感性を磨き、可能性を伸ばすこと

## &lt;保育目標&gt;

強い子 元気な子

## ④施設・事業所の特徴的な取組

## &lt;みゆさと保育園の特徴的な取り組み&gt;

- 専門講師による特別保育（英語、スポーツ、書き方、バドミントン）を実施。
- 年齢に応じた歯磨きの導入 ※歯の仕上げ磨きを職員がおやつ後、給食後全園児に行っています。
- 栄養士による献立作成、栄養計算を基に購入しうる範囲の有機野菜と自然食品、無添加の使用、清潔に園内で調理をしています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年05月11日（契約日） ～ 2022年02月14日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（年度）

⑥総評

【みゆさと保育園の概要】

●みゆさと保育園は、社会福祉法人若里（以下、法人という）の運営です。法人本部は福井県にあり、認定子ども園1園、保育園2園を運営しており、みゆさと保育園は平成31年4月に開設した3園目の施設となります。みゆさと保育園は、JR京浜東北線「鶴見駅」から徒歩9分、商店街で買物する人々や交通量の多い場所に位置していますが、騒音の影響はほとんどありません。また、保育園の周囲には大小の公園が多く点在し、天候の良い日には公園に出かけ、佃野商店街も散歩コースであり、地域の方や商店の方々と交流を図っています。

●みゆさと保育園は、設立3年目であり、4階建ての真新しい園舎に砂地の園庭と屋上に園庭を有しています。戸外活動に出かけない時は、砂地の園庭で走り廻り、屋上の園庭では遊びを変えて子どもたちが楽しめるようにしています。戸外活動、室内遊びの充実を図り、子どもたちはのびのびと環境に親しみ、街中の保育園ならではの良さを生かした保育を展開しています。また、災害時の避難等では、園と鶴見駅の間にある「豊岡小学校」が緊急避難場所であり、園から平坦地のため避難時は安全に移動ができることも利点です。

◇特に評価の高い点

1. 【歯磨き・仕上げ磨きの取り組み】

●みゆさと保育園では、歯磨きの導入（虫歯予防指導）及び歯の仕上げ磨きを、全園児対象に給食後・おやつ後に1日2回、実施しています。令和3年7月の「保健だより」では、6月に実施した歯科健診結果が最初の記事に挙げられており、「虫歯の数」として0歳児から5歳児までのクラス平均数を一覧にして示しています。園のコメントでは、「ご家庭で『仕上げ磨き』の習慣をつけましょう」と記載し、歯の大切さの理解と共に啓蒙を図り、正しい歯磨きの習慣を家庭と共に継続して取り組んでいます。

2. 【『食』を大切にしたい取り組み】

●みゆさと保育園の給食では、栄養士による栄養計算を基に献立を独自に作成し、有機野菜・自然食品・無添加を積極的に取り入れ、安心・安全な食事の提供に努めています。そして、園内で調理を行い、適時適温の食事を提供しています。園では、幼少期の「食育」を大切に、食に対する環境を子どもの心身の健康につなげ、成長にとって大切な「食材」・「食事」にこだわり、保護者に対しても大きな安心を提供しています。

3. 【特別保育事業への取り組み】

●みゆさと保育園は、特別保育事業として乳児保育、産休あけ保育、障害児保育、延長保育、一時保育を実施しています。一時保育については、地域の保育需要を把握し、現在では新型コロナウイルス禍（以下、コロナ禍という）の情勢下、祖父母や知人に預けにくくなっている状況もあり、保護者の利便の向上を図り、弾力的に対応しています。また、外部の専門講師を招き、英語教室、スポーツ教室、書き方、バトミントン等の特別保育もプログラムに取り入れて実施しています。地域の子育て支援では、園庭開放、育児相談を行う等、地域における子育て家庭への支援にも取り組んでいます。みゆさと保育園は、地域に開かれた保育所として、地域の特性に応じた事業・活動の推進を図っ

ています。

◇改善を求められる点

1. 【危機管理について】

●コロナ禍の問題で、社会的に各事業の運営の難しさが、日々表面化されている昨今。現状、保育園も然りであり、それらも含め、今回の利用者アンケートでは種々の提言、不安も見え隠れしています。意見欄では、「良いところだと思われる点」が多く記載があり、園長をはじめ、保育士一人ひとりの努力が認められていることが良く分かります。一方、「改善してほしい点」から、利用しやすい緊急連絡網や、入口の暗証番号等の意見において、危機管理の一環として、適宜、検討・見直しを図っていかれることを期待いたします。

2. 【行事への取り組みについて】

●行事については、今年度もコロナ禍により、他園でも多くの行事が中止もしくは縮小での実施を余儀なくされています。その中で、園舎以外で実施する行事に必要な会場を探す場合、園の立地環境において、限定された中での会場規模・予約等の難しさは理解いたします。現在の不確約の情勢下で行事再開は工夫をしながら全職員で考えられていることと思います。行事の再開見通しがついた際は、毎年、同じ会場での実施が望ましいと考えます。定着、安定、安心を子ども、保護者に提供でき、職員も会場の規模等から催しの計画の練りやすさが考えられます。子どもたちの成長を共に喜び合える時期の再開と共に、固定した会場を確保する取り組みに期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： みゆさと保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

自己評価を全職員で取り組んだことで、マニュアルや全体的計画を見直し、自分たちの保育を振り返ることができて良かった。普段あまり関わることのなかった運営や経営についても知れる良いきっかけになった。

保護者アンケートで良いことは引き続き継続し、改善点はできることはしていきたいと思う。

<評価後取り組んだ事として>

1. 職員の名前と顔が一致しないとアンケートにあったので名前入り顔写真を玄関に掲示した。

2. 感染症ボードが小さいとアンケートにあったので少し大きくした。

3. 緊急時用連絡手段としてメール配信を取り入れた。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり